紙芝居

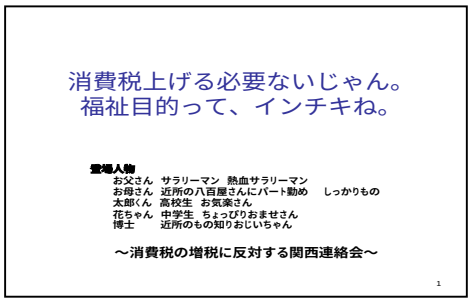
消費税・税制 CD 学習資料

２００７．８

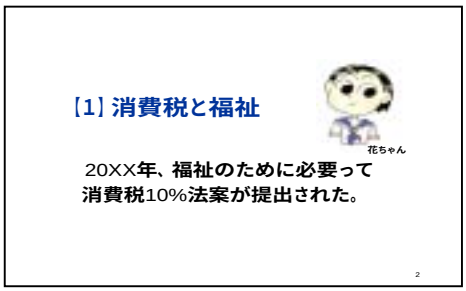
消費税の増税に反対する関西連絡会

画面　　せりふ

1



2



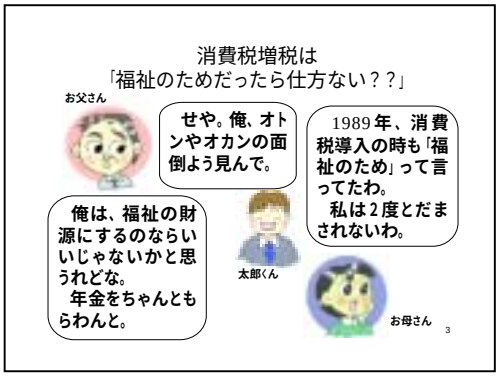
ナレーション（花ちゃん）

時は20XX 年、ついに消費税10%法案が提出されました。国は今度も福祉の為と説明をしています。もう、私たちはごまかされません。

でも、福祉のために必要って言われると、「そうかなぁ」と思っている人が多いのも確かです。

しっかりと勉強して、消費税増税反対の輪を広げていきましょう。

3



花ちゃん（ナレーション風）

私は消費税の増税って、絶対反対なんだけど、お父さんは、老後のことが心配なようです。

お父さん　／

俺は消費税を福祉の財源にするのなら、10%もしゃーないと思うけどな。年金、ちゃんともらわんと老後の生活がなりたたんしな。

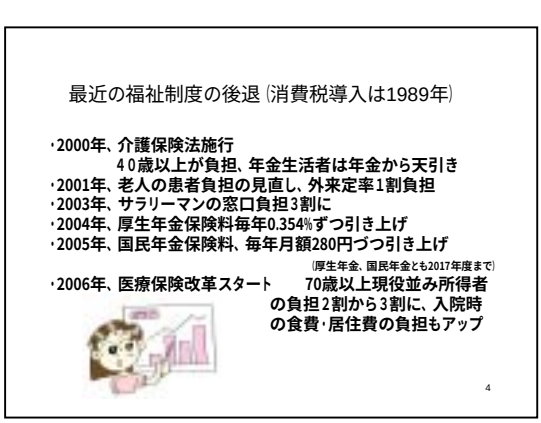
そう言えば、太郎のヤツ「俺、オトンやオカンの老後の面倒は、よう見んで。」て、薄情なこと言ってたな。

お母さん／

お父さん、また、だまされてんのとちがう。1989 年に消費税が導入された時も「福祉の為」って言ってたよね。

私は2度とだまされないわ。

4



お母さん／

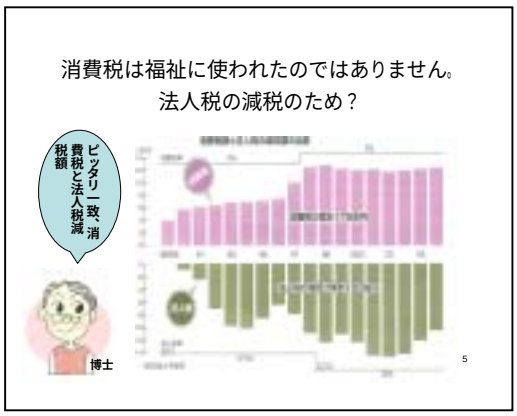
消費税は「福祉のため」って言って、導入されたけど、それからも「介護保険の導入」「老人の患者負担増」「サラリーマンの窓口負担が3割に」って、福祉の中身は悪くなるばかりなのよ。

厚生年金や国民年金の保険料は 2017 年度まで毎年上がりつづけるんだから。

お父さん／

そうか、消費税が導入されてからも、福祉は後退、反対に負担は増えているんだよな。

5



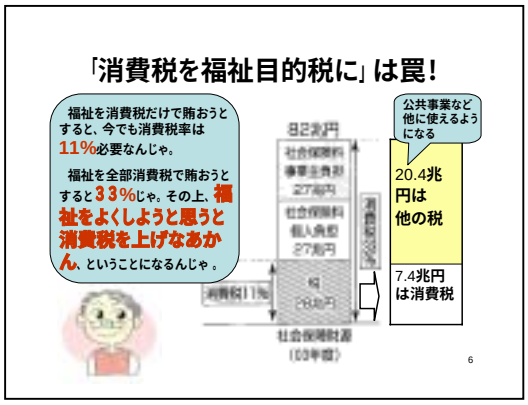
博士

そうなんじゃ。

消費税は福祉に使われたとは言えないんじゃ。消費税が導入されてからの消費税額と、同じ期間の法人3税の減収額をみてみると、消費税収は 2005 年までに175兆円、同じ時期に法人税収は160兆円の減収となっている。法人税収は不況などの影響も考えられるが、税率が40%から37．5%、34．5%、そして30%にと減税されたことが大きいんじゃよ。

消費税は法人税の減税に使われたといっても過言ではないんじゃ。

6



お父さん／

それじゃ、消費税を福祉にしか使えない福祉目的税にしたらいいんじゃないかな。

博士 ／

お父さんの考えは政府の思うつぼじゃな。

1年間の福祉財源は約82兆円、内訳は事業主負担27兆円、保険料27兆円、税金28兆円じゃ。税金28兆円には今でも名目上、消費税7．4兆円が使われていることになっているんじゃよ。

消費税を福祉目的税にして、税金の28兆円全部を消費税で賄おうとすると、消費税率は11%にもなる、福祉を全部消費税で賄おうとすると33%必要じゃ。

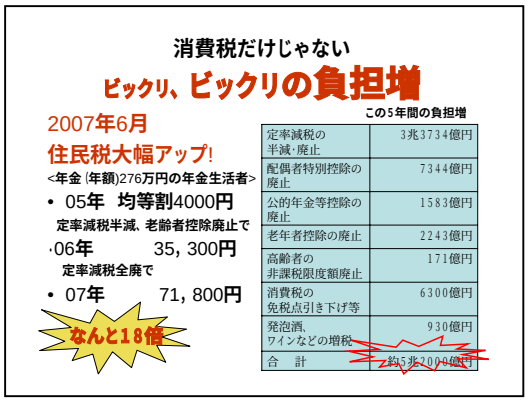
その上、「福祉は消費税で」となると、福祉をよくしようと思うと消費税をどんどん上げなあかん、ということになる。

それに、消費税を福祉目的税にしたからって、所得税などが減税されるわけではない。今まで福祉に充てていた税金が、法人税減税や公共事業、軍事費の財源として使えるということになるんじゃよ。

花ちゃん（ナレーション風）

ほらね、福祉目的になんて言葉にうっかり乗ったら大変なことになるわね。

7



お母さん／

じゃ、「消費税を福祉目的に」は、国民が反対しないようにっていう、方便みたいなものね。

それにしても、最近の私たちの負担増はひどいんじゃない。

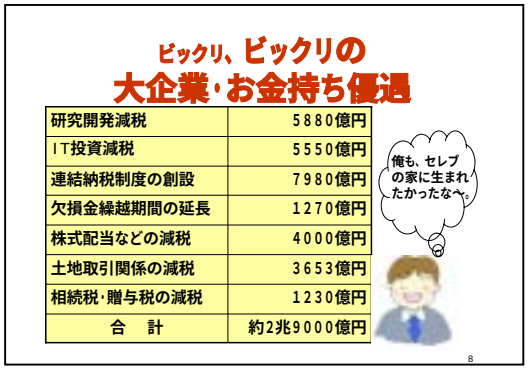
博士 ／

ビックリ・ビックリの負担増じゃ。

定率減税の廃止、国から地方への税源移譲、公的年金控除の縮小、老年者控除の廃止など。特に高齢者がターゲットにされているんじゃ。だから、今まで住民税は均等割4千円ですんでいた高齢者が、何と7万1800円、実に18倍にもなった世帯があるんじゃ。

この5年間の国民の負担増は5兆2千億円にもなる、たまったもんじゃない。

8



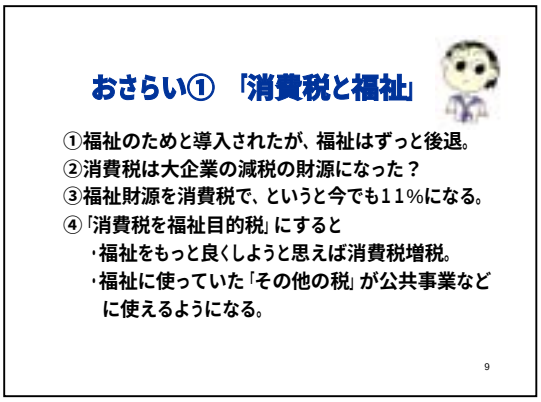
博士／

こんどはビックリ・ビックリの大企業とお金持ち優遇税制じゃ。

「研究開発減税、5880億円」「IT 投資減税、5550億円」など、いたれりつくせりじゃ。約2兆9千億円にもなる。

国民が税金の使われ方を監視することも大事じしゃな。

9

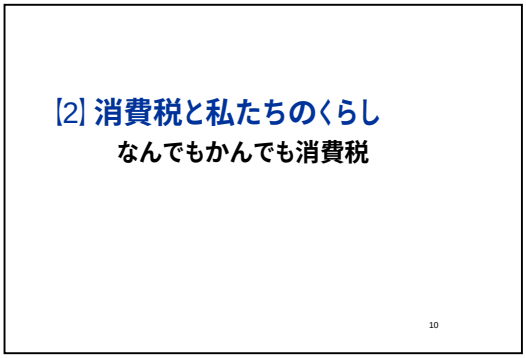


花ちゃん（ナレーション風）

では、消費税と福祉の関係について、おさらいします。

1. 消費税は 1989 年に福祉のためと導入されましたが、福祉はずっと後退をつづけている。
2. 2005 年までに国民が納めた消費税は 175 兆円、法人3税の減収は 160 兆円、消費税は大企業の減税の財源になった。
3. 福祉に使われている税金を、消費税で賄おうとすると、今でも 11%になる。
4. 消費税を福祉目的税にすると
   - ・福祉をもっと良くしようと思えば消費税を増税しないといけなくなる。
   - ・福祉に使っていた税金が公共事業や法人税減税、軍事費などに使えるようになる。

10



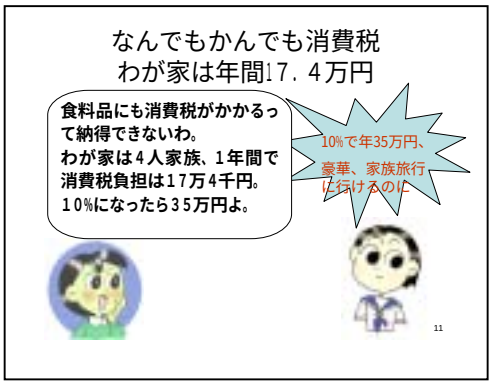
花ちゃん（ナレーション風）

次は、消費税と私たちのくらしです。

日本の消費税はなんでもかんでも5%かかるから、負担が大きいのです。

お母さんのぼやきから始まります。

11



お母さん ／

ほんまに、消費税って負担が大きいのよね。特に、絶対に必要な食料品にも消費税がかかるって納得できないわ。

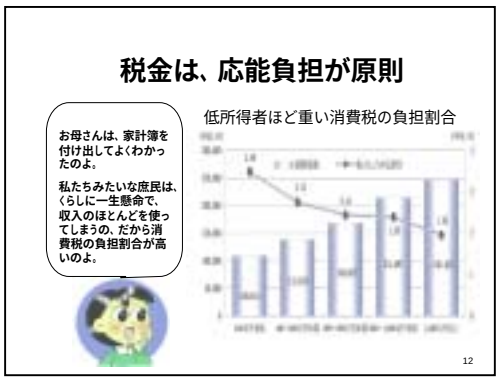
私、ちょっとでも節約しよう思って、生協（新婦人）に入って、家計簿つけるてるけど、わが家は4人家族で、1年間、17万4千円も消費税を負担してんのよ。

10%になったら35万円にもなるわ。

花ちゃん（ナレーション風）

35万円あったら、豪華家族旅行にいけるのに～、お小遣いももう少し上げてもらえるのに、と思います。

12



お母さん／

家計簿を付け出してよくわかったけど、所得が低い世帯ほど消費税の負担が重いのね。

収入400万円未満の世帯は消費税額が10万8千円、負担割合は3．49%、1千万円以上では24万6千円、負担割合は1．96%にしかならないのよ。

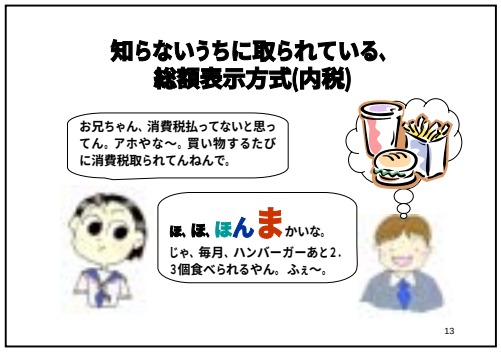
私たちみたいな庶民は、くらしに一生懸命で、そのために収入のほとんどを使ってしまうの、だから消費税の負担が重いのね。

お父さん／

これは公平じゃないな。こういうのを逆進制っていうじゃなかったかな。

税金って、富の再分配っていうのが大事だから、累進課税とか、負担能力に応じて納める、応能負担が原則って習ったな。消費税って、みんな5%だから一見公平に見うるけど、ごまかされた公平なんだな。

13

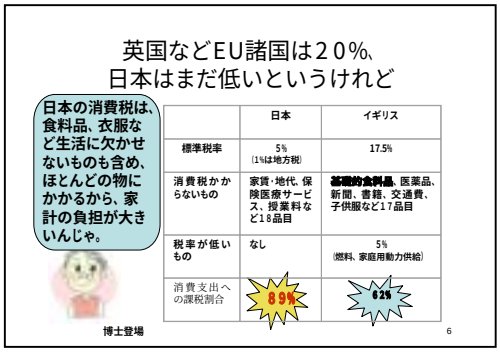


花ちゃん（ナレーション風）

私のお兄ちゃんは、消費税を払っていないと思っています。本当にお気楽さんです。

この前、みんなが税金の痛みを感じないように「総額表示方式」になったんやで、と教えてあげたら、「ほ、ほ、ほんまかいな」と驚いていました。

14



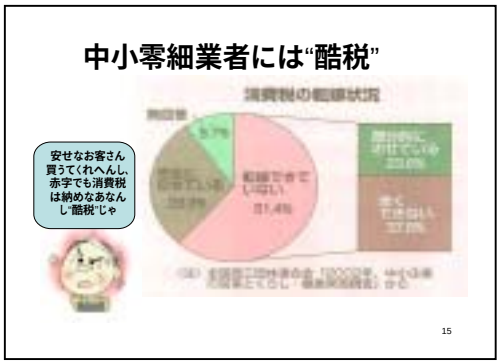
博士／

日本の消費税は、食料品、衣服など生活に欠かせないものも含め、ほとんどの物にかかるから、家計の負担が大きいんじゃ。

イギリスは17．5%で高いけど、食料品、医薬品、新聞、書籍、交通費、子供服など生活に欠かせないものには消費税がかからないんじゃ。

だから、日本は消費した内の89%に消費税がかかるのに、イギリスでは62%しかならないんじゃ。

15



お母さん／

私たちの負担も大きいけど、そう言えば、八百屋のご主人もぼやいていたわ。

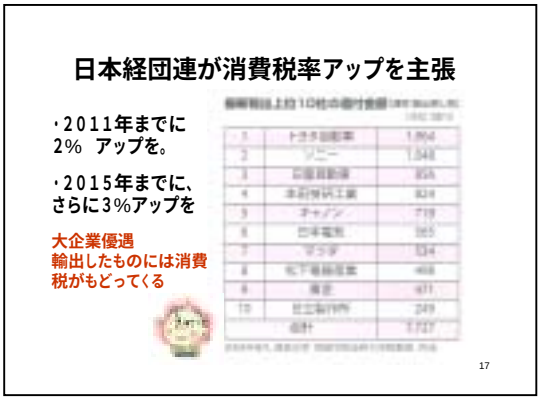
ちっとも儲かっていなくても、赤字でも、売上げがあれば消費税を納めなあかん、酷税やって。

消費税をちゃんと消費者に転嫁できていない、と答えた中小零細業者は61．4%にもなるんやって。

お父さん／

俺、昨日会社で取引先の下請けの社長に、「消費税分は値下げしてくれ」って言ってしもうたわ。会社の方針やからな。俺も業績あげんと、飛ばされてしまうかもしれんし。会社と良心の板挟みやで。

16



お母さん／

大企業は、消費税を完全に転嫁できて、いっさい身銭を切らないから、もっと消費税をあげろ、って強気なのね。

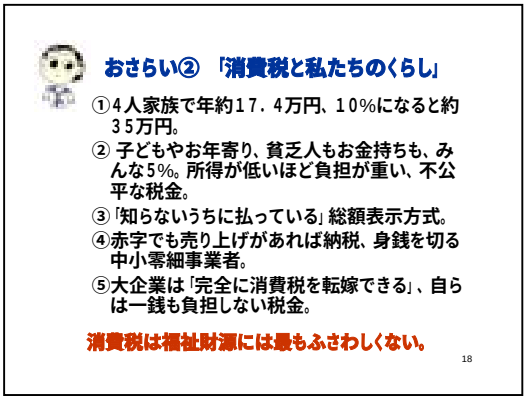
博士／

日本経団連、大企業の集まりじゃがな。そこが、消費税を2011年までに2%、2015年までにさらに3%上げろ、そして法人税をもっと下げろって言っておるんじゃ。

その上に「輸出戻し税制度」というのがあって、消費税が返ってくるんじゃ。理屈は、輸出した場合は、外国の消費者から消費税を取ることができないので、仕入段階で払った消費税が回収できない、だから仕入にかかった消費税をお返ししましょう、ということじゃ。

なんとトヨタ自動車の還付金額は1964億円にもなるんじゃ。

17

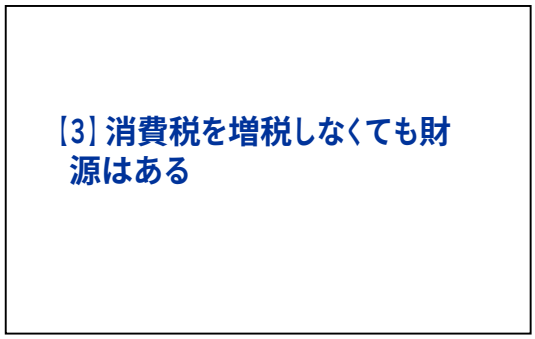


花ちゃん（ナレーション風）

では、消費税と私たちのくらしについて、おさらいします。

1. 4人家族で年間約17万4千円の消費税を負担している。10%になると約35万円にもなる。
2. 子どもやお年寄り、貧乏人もお金持ちも、みんな5%、所得が低いほど負担が重い、不公平な税金。
3. 知らないうちに払う、税の痛みを感じさせない総額表示方式になった。
4. 赤字でも売上げがあれば納税しなければならない。中小事業者は身銭を切る酷税。
5. 大企業は、完全に消費税を転嫁できるから、身銭を切ることはない。だから、消費税増税を主張している。

18

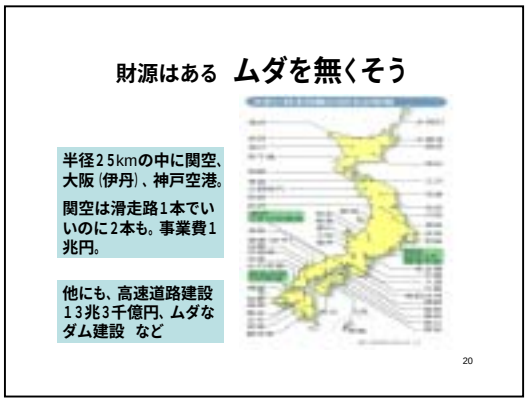


花ちゃん（ナレーション風）

次は、消費税を増税しなくても財源はある、というお話です。

お父さんのぼやきから始まります。

19

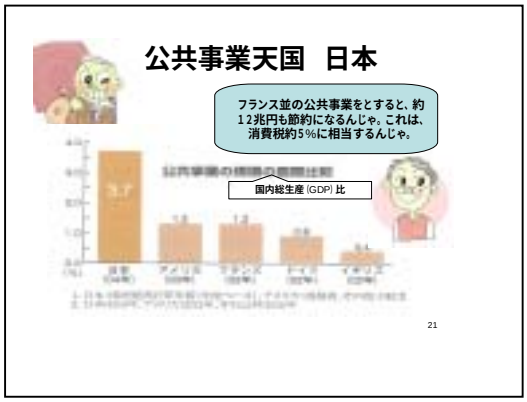


お父さん／

必要もないのに飛行場やダムを作ったり、談合や天下りとか、税金の無駄遣いが多いんだよ。

関西は、半径25km の中に、関空、伊丹、神戸空港の3つもある、関空は着陸回数が増えないのに2本目の滑走路を造って1兆円も無駄遣いしているしな。

20



お父さん／
　それによく言われるけど、日本って公共事業天国だ。

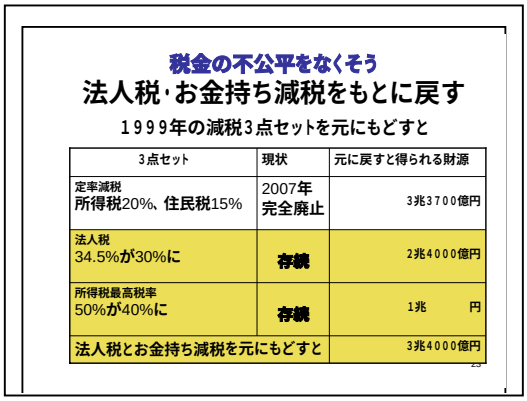
博士／
　このグラフは、国内総生産･GDP に対して、どれくらい公共事業を行っているかを表しているが、日本は3．7%、アメリカやフランスは1．3%、イギリスは0．4%じゃ。日本は実にフランスの3倍、イギリスの9倍も公共事業をしているということじゃよ。
　日本の国内は約 500 兆円だから、フランス並みの1．3%程度にすれば12兆円もの節約になるんじゃ。

21

お母さん　／
　それに、日本が負担している米軍の駐留経費5382億円は、世界25カ国の合計を上回るんだって。米軍基地の再編やグァムへの移転にも日本が3兆円負担するっていう話もあるしね。これって、みんな税金なのよね。

花ちゃん (ナレーション風)
　でも、経費削減っていっても、今、国がやってるように福祉や医療など減らしてはいけないところまで、削減したらあかんよね
　さて、無駄遣いの話をしていると切りがないので、次は財源を増やそうという話です。

22



税金の不公平をなくそう

法人税･お金持ち減税をもとに戻す

1999年の減税3点セットを元にもどすと

3点セット	現状	元に戻すと得られる財源
定率減税 所得税20%、住民税15%	2007年 完全廃止	3兆3700億円
法人税 34.5%が30%に	存続	2兆4000億円
所得税最高税率 50%が40%に	存続	1兆　　円
法人税とお金持ち減税を元にもどすと		3兆4000億円

お父さん／
　次は税収を増やすことね。景気回復の為って 1999 年に「所得税･住民税の減税」「法人税の減税」「高額所得者の減税」の減税3点セットの内、所得税･住民税の減税が今年からなくなったのよ。法人税や高額所得者の減税はそのままやのに。

お父さん／
　俺は、まず、法人税や高額所得者の減税を元にもどすべきだと思うよ。

博士　／
　そうなんじゃ。法人税を 1999 年以前に戻すと2兆4000億円の税収増になる。所得税はの最高税率を1999年以前に戻すと税収は5000億円増えるじゃ。

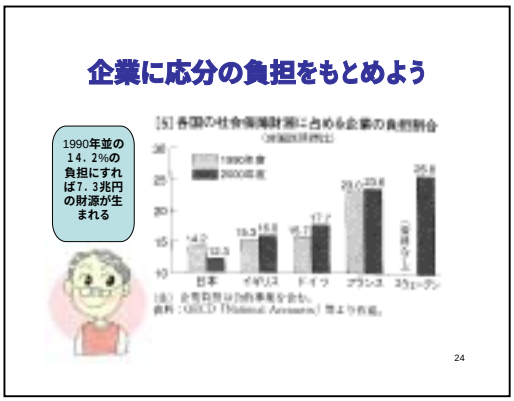
※法人税収
　2007 法人税収見込み 16.3 兆円 (政府予算)
　16.3 兆円× (34.5/30) -16.3=2.4 兆円

※高額所得者減税

2004 年度	申告所得税の実態	2 兆 5541 億円
	総合税率で計算した税額	3 兆 2107 億円
	対 2004 年度差額	6566 億円
1998 年度	総合税率で計算した税額	3 兆 7298 億円
	対 2004 年度差額	1兆 1757 億円

1兆 1757 億円－6566 億円=5191億円

23



博士／

企業に応分の負担を求めることもだいじじゃ。

各国の社会保障財源に占める企業の負担割合は、日本では1990年の負担割合14．2%だったのが 2000 年には 12.3%と減っているんじゃ。諸外国は増やしてるのにの。

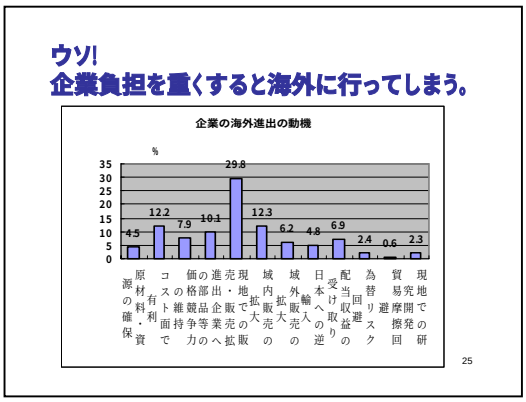
それに、もともと外国に比べて日本の企業の負担割合が少ないんじゃ。

これを、1990年の14．2%に戻すと、日本の国民所得は約 383 兆円(1999 年度)じゃから、約7．3兆円も財源ができるんじゃ。

お父さん／

でもさ、企業の負担を重くすると、みんな海外にいってしまうっていうじゃない。そうなると税金はとれないし、我々の働く場所だってなくならないのかな。

24



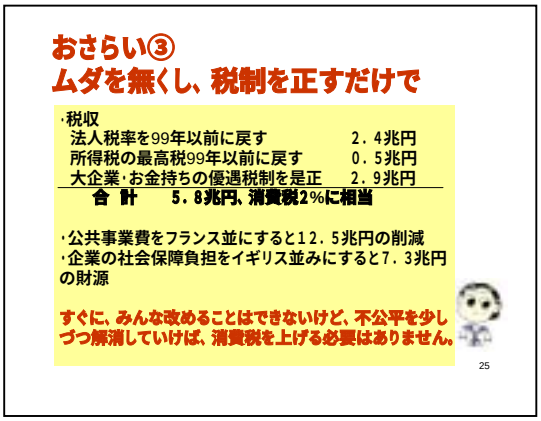
博士／

心配いらんて。消費税20%、社会保険料の高い EU 諸国にだって、企業はりっぱに進出して、稼いでいるんだし。

国の調査でも、企業の海外進出の動機は、現地での販売や販売拡大、コスト削減のため、と答えているんじゃ。

お父さんの心配は国や財界の宣伝に影響されている、ということだね。

25



花ちゃん(ナレーション風)

では、消費税を増税しなくても財源はある、についておさらいします。

1．減税3点セットの法人税やお金持ち減税を無くすことです。

・法人税率を元に戻すと2．4兆円

・お金持ち減税を元に戻すと5000億円ね。

・大企業・お金持ちの優遇税制2．9兆円

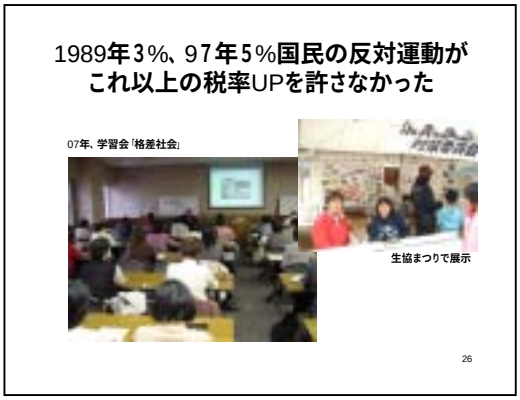
合わせると5．8兆円、消費税2%に相当します。

それから、不必要な公共事業を削ってフランス並にすれば12兆円の節約になります。企業の社会保障の財源負担を1990年並みにすると7．3兆円になります。

これをたすと19．3兆円、19．3兆円は消費税7．6%に相当します。

すぐに全部を改めるのは無茶ですが、少しづつでも改善していけば、消費税を上げる必要はありません。

26



お父さん／
世の中、腹の立つこと多いけど、消費税増税に反対しても、大きな物には巻かれろ、みたいなとろこがあって、「あきらめ気分」の人も多いんじゃないかな。

お母さん／
でもね、消費税導入から20年近くになるけど、政府はいつも消費税を上げよう、上げようとしてきたけど、簡単に上げることができずにいるの。税率アップします、といったら選挙に負けるからね。

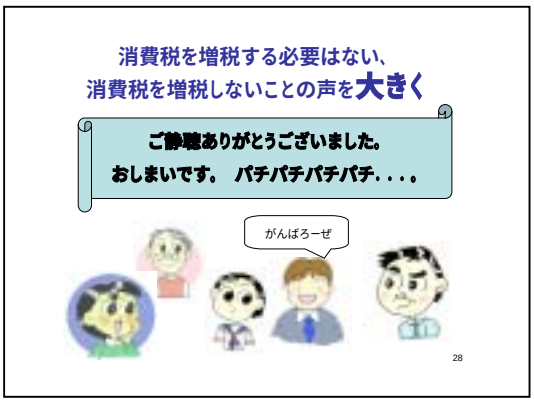
お父さん／
お母さんが頑張っている消費税･関西連とか、全国にある反対運動をねばり強くやっているところが頑張ってるからか。

お母さん／
今年、消費税･関西連は、格差問題をテーマに3回シリーズで学習会をしたのよ。
わかやま市民生協では、消費税問題対策委員会が頑張って、生協まつりで「消費税の増税反対」って訴えてるし。

27

お母さん／
消費税･関西連は、消費税が導入された 1989 年4月1日から、毎月1日を基本に街頭キャンペーンをやってるのよ。みんなから託された署名は、きちっと国会にもっていっているし。
わかやま市民生協でも、駅頭や生協のお店の前で宣伝をつづけているのよ。
継続は力なり、国民の力、国民の声は強いのよ。

28



お父さん／俺も福祉のためだったらしかたがないか、なんてちっょと思っていたけど、不公平な税制やムダをなくせば、財源はあるってわかって、今は、消費税増税は絶対反対だ。

お母さん／私も消費税増税は絶対反対だわ。福祉のためだなんて、2度とだまされないからね。今日、勉強したことを友達にも教えてあげるないと。

博士／そうじゃ。反対って思っているだけじゃダメだから、署名したり、友達に教えてあげたりして運動を広げることが大事なんじゃ。

花ちゃん／いかがでしたか。少しはスカーっとしましたか。みなさんも、ぜひ、消費税増税NOの声を、身近なところから広げましょう。そして、大きな大きな世論にしましょう。
以上、おしまいです。
ご静聴、ありがとうございました。